

地域密着型実践教育

－ 北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト －

学校名：中央工学校

所属学科：建築室内設計科2年 ○高橋 涼音、若林 蒼空 担当指導教員 馬島 稔明

1. はじめに

地域密着型実践教育の取り組みは、平成16年から実施され、今年度で20年目を迎える。本授業は実案件を題材とした実務教育により、実務における一連の流れを学び、併せてグループワークによるコミュニケーション能力の向上を目的としている。東京都北区を中心に様々な商店街と連携し、各店舗のリニューアルプランを提案する授業として実施している。

近年はコロナ禍の影響により、施主との対面による連携が困難な状況となり、遠隔での取り組みが余儀なくされた中、北海道十勝清水町の協力により実現した授業が、「北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト」である。

2. 過年度の取り組み

コロナ禍以前は、商店街の組合と連携し候補となる店舗へ学生自身が直接依頼するところから授業が開始された。店舗(物販・飲食)を対象とした「ショップデザイン」の授業で実施しており、基本計画の立案を目的に現地調査や、施主との打ち合わせを行う。現状の問題点や今後の展望を模索して行く。



写真1 店舗調査



写真2 グループワーク

建設当初の設計資料が無い店舗が多いため、計測作業から店舗内の什器レイアウトの確認を行い、設計に必要な情報をまとめる。スケールで採寸する学生、メモを取る学生と役割分担を行い、実務同様の作業を体験する。調査で得た情報をもとにグループワークを行い、プランを具現化する。学生らしい柔軟なアイデアや発想力が重要なため、多角的な検討が必要となる。

複数名でのグループワークは個人課題と異なり、意見の相違がある中での協力が必要になるため、高いコミュニケーション能力が重要となる。特に実案件による施主への提案が求められるため、妥協した作業が許されない状況である。グループでの意見を積み重ねることにより、充実した成果作品を期待している。



写真3 施主プレゼンテーション



写真4 学内プレゼンテーション

最終的に現地において施主へのプレゼンテーションが実施される。施主への報告は学内での発表会とは大きく異なり、緊張感のあるプレゼンテーションである。実務に則した一連の経験を通じて、社会人としての心構えが養われることを期待している。

3. 実績

過年度の取り組みの一つである「旧豊島北中学校コンバージョン計画」では、実際に学生の提案が採用され、実現運用がされている。東京都北区の取り組みとして、北区文化振興財団が推進する整備計画のひとつに、閉校した中学校の利活用計画があり、その施設内にあるカフェスペースのデザイン提案を行った。現在も「東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ」という名称で継続利用されている。



写真5 学生提案



写真6 竣工写真

4. 北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト

(1)経緯

東京都北区と北海道十勝清水町は、「渋沢栄一」にゆかりのある地域である。近年の観光振興を促す様々な活動を通じて、令和4年度から本校との産学連携事業として「北のまち 十勝清水町 Re design プロジェクト」が実現した。

これまでの授業では、近郊の商店街や個人店舗での取り組みが中心であったが、近年のコロナ禍の影響により、遠隔による Zoom を活用した新しい展開での実施となった。実店舗への訪問が難しい中、施主と Zoom を通じて打ち合わせをすることで、対面さながらの緊張感の中、授業が展開されている。清水町長や清水町役場商工観光課など、各担当者の協力により従前と同様の成果が見受けられた。実務においても遠隔が活用される状況であり、将来の就業に向けて貴重な経験をする事ができた。



写真7 清水町概要説明



写真8 施主打ち合わせ

(2)実施概要

2年目となる令和5年度は2店舗(飲食店・事務所)と連携し、各店舗3グループの合計6班に分かれ、リニューアルプランを提案している。

ア. 連携店舗

大心技研工業株式会社(建設業事務所)

食事処 慎鮎(飲食店)

イ. 対象学生

建築室内設計科2年 32名

ウ. 日程

令和5年5月17日 店舗概要説明・調査

7月26日 作品提出

8月30日 公開プレゼンテーション

(3)実施内容

ア. 大心技研工業株式会社(建設業事務所)

地場産業として総合建設業を営む企業である。事務所の情報管理や接客に伴う空間提案を期待されている。1・2階の2層空間の利活用として新しい提案が要望された。

イ. 食事処 慎鮎(飲食店)

地域に根付いた寿司店であり、地域住民を中心に多くの利用者で賑わっている店舗である。特に若年層の利用促進を期待されており、学生の斬新なアイデアが求められた。設備計画や顧客動線など、多角的な検討が必要な案件であった。



写真9 学生作品①



写真10 学生作品②

5. おわりに

昨年の取り組みで3店舗(物販店)のリニューアル提案がされた。現在、その中の一店舗において学生提案を基にした、一部リニューアル計画が実現に向けて継続検討されている。

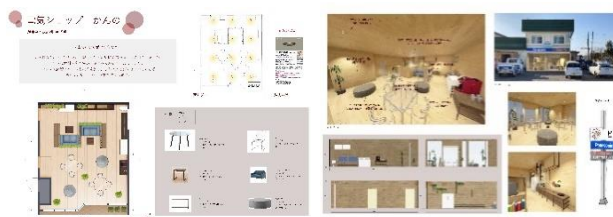


写真11 学生作品③



写真12 学生作品④

この授業の目的として、グループで一つのものを作り上げる大変さや達成感を学生中に経験することが重要と考えている。施主との対面での打ち合わせだけではなく、Zoom を利用したコミュニケーションを取り入れることにより、実社会での業務の流れに沿った授業展開ができたことは、社会人として活躍して行く学生にとって、自身の働く姿が少なからず想像が出来たのではないかと考えている。この授業で得た経験を活かし、将来の活躍を大いに期待している。

■Takahashi Suzune

Wakabayashi Sora

■mashima_t@chuoko.ac.jp

(キーワード)地域密着型実践教育

北海道 十勝清水町 リニューアル計画

東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ